

## コスモヒルズ自治会

コスモヒルズ自治会 会長 林達之



コスモヒルズ自治会は浅久保地区自治連合会に所属し、もちつき大会や夏祭り、防災講習などに参加させていたいただいております。

7月の浅久保夏祭りでは当自治会から、射的、スーパードールすくい、駄菓子模擬店を出店しました。

コスモヒルズ自治会は、下新倉地区大和中学校そばにあるマンション、コスモヒルズ和光丸山台の105戸から構成されています。今年で設立から15年目に入りました。我々

時代は変われど、子供達の喜ぶものは変わらないうようで、射的は大人気でした。子供達の笑顔を見るのは何事にも変えられない充足感があります。

そして、真夏の炎天下で汗して共に働くことで、自治会役員の大人の懇親効果がある点も見逃せないポイントでしょう。15年前、和光市に転入してきたばかりの私達に、こうした機会をいただいた浅久保連合会には大変感謝しております。

その他の活動としては、クリーンオブ和光、防災訓練の参加、住民懇親パーティーなどがあります。住民懇親パーティーではお酒も用意し、住民の方々に無料で歓談を楽しんでいただいています。マンションという組織形態の性格もあって、イベントに参加いただく方は、

やや偏り固定化の傾向があります。

先日、朝霞ゆめパレスで防犯講習を受講しましたが、埼玉県の刑法犯罪は十年前に比べて半数以下に激減しているそうです。講習では、青パトに代表される地域の防犯組織活動が、そうした地域の安全を向上させた一因であるとお教えいただきました。

マンション生活においても、防犯に強い組織にするには、まず隣人の顔を知ることから始めなければなりません。懇親パーティーのような大きなイベントでなくとも、住民どうしが気軽に触れ合え

る機会が増やせるような工夫が今後必要になってくるのではないのでしょうか。

15年前の設立当初は、全住民がマンション入居間もないこともあり、小学生以下の児童さんが多かったのですが、時の流れとともに児童も減り、今後も更に少なくなっていくことが予想されます。これは分譲マンションの特質上やむを得ないことではありますが、構成員の変化とともに、自治会の役割、開催イベントの再検討、予算の配分等、考慮すべき課題が多くあると認識しているとこそです。